

MIG COLLECTION

受け継がれるもの



左：パグウォッシュ会議ニュースレター（1995年度。ノーベル賞受賞時）

中：第55回パグウォッシュ会議年次大会報告書（2005年度。日本での年次大会開催時）

右：第61回パグウォッシュ会議世界大会報告書（2015年度。日本での年次大会開催時）

（明治学院大学国際平和研究所所蔵）

忘れてはいけないこと、というものがある。

ヒロシマ、ナガサキ、そしてビキニ

それは「昔話」ではないから。

核と戦争の廃絶を訴えた

ラッセル・アインシュタイン宣言に

世界の科学者たちが応え

ちょうど六〇年前に発足したパグウォッシュ会議に

豊田利幸初代所長以来、国際平和研究所はつながってきた。

今年七月七日、ついに国連は核兵器禁止条約を採択した。

被爆者とNGO関係者が抱き合って喜んだ議場には

拍手を惜しまないパグウォッシュ会議メンバーの姿もあつた。

条約実現に尽力したICANが今年のノーベル平和賞を受賞。

同じノーベル賞が一九九五年には、パグウォッシュ会議と

ナチがもはや原爆を手にすることはないと知り

マンハッタン計画から離脱した唯一の科学者

ジヨセフ・ロートブラット博士に贈られた。

人々の願いに反して二一世紀にも戦乱は続いている。

だが戦争の惨禍を少しでも減らそうと

努力を重ねてきたのも人類の歴史。

私たちの「いのち」、私たちの子らの未来のために

思い起こし、引き継ぐべき記憶と記録が、大学にはある。

国際学部教授・国際平和研究所所長 高原孝生

※パグウォッシュ会議は、一九五七年に発足。「戦争のない世界」を目指して諸問題に取り組み東西冷戦時代に核戦争の防止に果たした役割を認められ、一九九五年にノーベル平和賞を受賞しました。